

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	食育推進事業			事業番号	038-087
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理部	部	学校給食 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
		有	取組の方向性	③健やかな心身の育成			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		有	取組	—			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
2	関連計画	■第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度	平成 22 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■学校給食法・食育基本法					

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■堺市立幼・小・中・支援学校の幼児児童生徒64,218人 (R2.5.1時点) および保護者					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■堺市立幼・小・中・支援学校の幼児児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、学校・家庭・地域が連携した食育の推進を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■小・中学校への食通信の配付や食育フェアを開催し、学校給食の役割や食育の大切さについて児童生徒や保護者・市民に普及啓発する。また、教職員や保護者・市民を対象に食育講演会を開催し、広く食育の推進を図る。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—					
10	公民連携・協働事業	—					

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 朝食を毎日食べる児童の割合 (小6)	%	目標値	100	100	100		
		実績値	85	-			
		達成率	85%	-			
当該指標を選定した理由		■第3期未来をつくる堺教育プランの指標として同指標を設定しているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		■令和元年度は全国学力・学習状況調査堺市結果。令和2年度は調査なし。					
12 食通信の発行 (年間11回)	回	目標値	11	11	11		
		実績値	11	9			
		達成率	100%	82%			
当該指標を選定した理由		■毎月定期的に食に関する内容を小学生の全保護者と全生徒に配付するとともに、ホームページに掲載し、食育の重要性を啓発しているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		■学校給食献立表の配付と合わせて月1回の配付とする。					

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	食育推進事業	事業番号	038-087
-------	--------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	364	235	422	161	262
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ( )				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	364	235	422	161	262
14 人件費 (b)	3,280	3,240	3,280	3,280	3,280
15 年間経費(c)=(a)+(b)	3,644	3,475	3,702	3,441	3,542

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
16 事業費内訳	食育フェア関連消耗品費	R3	予算	100	100	R3	予算		
		R2	決算	112	112	R2	決算		
	食育フェア関連印刷製本費	R3	予算	72	72	R3	予算		
		R2	決算	13	13	R2	決算		
	食育講演会会場借上料	R3	予算	67	67	R3	予算		
		R2	決算	0	0	R2	決算		
食育フェア・食育講演会謝礼金	R3	予算	23	23	R3	予算			
	R2	決算			R2	決算			
	R3	予算			R3	予算			

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① ■朝食を毎日食べる児童数 (小6)	人	6,034	-
② 上記①にかかる年間経費	千円	3,475	-
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	576	
備考 (算出についての説明等)			-

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

- 18
- 朝食の摂取状況はほぼ横ばい傾向にある。食通信、食育フェア、食育講演会等を活用したより効果的な情報発信を図ってきた。子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくための基礎となる「食」にかかる資質・能力を育む学校での食育の推進を図り、引き続き学校・家庭・地域が連携して児童生徒の食環境の改善に努める必要がある。
  - 食育フェア開催や、小学校の全保護者・児童を対象とした食通信の発行を実施し、食育について広く啓発できたため、費用対効果は得られたといえる。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

- 19
- 重点戦略3施策(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進における指標として学力を挙げている。食育は、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるべきものとして食育基本法において位置づけられている。児童生徒が食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることを目的とした、学校における食育を推進することは、当該指標における目標達成のための基礎を固めることに寄与するものである。